

たかさご新聞

テレビとは違う生のステージから
リアルな感動が生まれます

第46回高砂生きがい演芸発表会が10月4日(金)9時開場(金沢市文化ホール)で開催します。

大ホール(900席)での年1回の発表会です。テレビとは違う生のステージから「意気込み」や情熱が伝わります。

積極的な手拍子や盛大な拍手で盛り上げ、ステージとの一体感からその場にいる

高砂大学校同窓会
第46回
高砂生きがい
演芸発表会
日時 令和6年10月4日(金)
午前9時20分～
会場 金沢市文化ホール(高岡町)
※会場近くにお忘れな
主催 高砂大学校同窓会
後援 金沢市教育委員会

10月4日(金)に金沢市文化ホールで開催		
9:00～	開場	
9:20～10:00	開会式	開会のことば・市長祝辞等
10:00～12:30	午前の部	17サークル
12:30～13:00	休憩	
13:00～15:20	午後の部	19サークル
15:20～	終演挨拶	演芸実行副委員長

伊吹山コースは4種類の観光が楽しめます
現在、参加者を緊急募集中

②花伊吹(おいしい昼食を堪能)

①伊吹山(美しい紅葉を鑑賞)

④黒壁スクエア等レトロな街(のんびり散歩)

③関ヶ原古戦場記念館(歴史探訪)

発行
高砂大学校同窓会
会長 泉屋和雄
〒920-0901
金沢市彦三町1-15-5
金沢中央公民館2F
TEL (076) 261-8101
FAX (076) 261-8149
(HP)http://www.takasagoob.net



QRコードで
ホームページ

少人数制の
「本当に使えるスマホ講座」を開催予定

講師2名で受講者8人程度

の少人数制の「本当に使えるスマホ講座」を複数回

に予定しています。多くの皆さんの受講をお待ちしています。

8月22日(木)に市役所と大手通信事業者と地元

の携帯電話ショップ(講師派遣)と同窓会でTV会議を

行い、スマホ研修会の開催が決定しました。

総務省は、デジタル技術の活用推進のために、ス

マホの利用等で「誰一人取り残さない、人に優しいデ

ジタル化」を掲げ、高齢者をはじめとした誰もがデジ

タル機器サービスを活用できる社会を目標としています。

日帰りバスツアー「伊吹山コース」10月23日(水)

には、空席が有り、申し込み可能です。

締切日は10月2日(水)です。お申し込みは、同窓

会窓口へ直接どうぞ。

- ①伊吹山の美しい紅葉
 - ②美味しい近江牛のすき焼き
 - ③教科書で学んだ関ヶ原の戦い
 - ④レトロな雰囲気のスクエア
- 4種類の観光が楽しめます。

総務省 デジタル活用支援推進事業
スマホ 講習会
デジタル活用支援
スマホの活用方法
スマフォの基本的な使い方から、さまざまな行政手続き方法まで。初心者でも安心してスマホの活用方法を学べる講習会です。実際に体験しながら一緒に学びましょう。



「マイナンバーカードで暮らしを便利に」
1. 本人確認書類になる！
2. 健康保険証としても使える
3. オンラインで各種行政手続きができる
4. 公金受取口座の登録ができる
5. e-Taxで確定申告の届出が自宅からできる
6. マイナポイントがもらえる(※条件あり)
7. コンビニで各種証明書を取得できる

赤い羽根共同募金は、自分の住んでいる町を良くするための募金です。実は、ちばん身近なところで使われている募金です。たとえば、あなたが100円を募金すれば70円はあなたが住んでいる町のために使われます。また残りは、県内全域で活動する福祉団体への助成や募金運動を推進する経費、また、災害等準備金として使われます。

赤い羽根共同募金の「案内」
あ「思いやり」「しあわせ」の意味が込められています
参加予定者は、103人で、目標100人を超える人数となりました。
同窓会では、10月1日(火)～10月7日(月)の期間に街頭募金を実施します。

去年参加したメンバー
金沢市 高砂大学校同窓会
募金額
武蔵がエムナ 81人
番林がエムナ 22人
計 103人

ランチタイムを
楽しく笑顔で
9月は、高砂草笛愛好会が出演します。木の葉による素朴な美しい音色が響きます。お楽しみください。ステージと観客が一体となるように盛大な拍手や手拍子をお願いします。多数の来場をお待ちしています。

ランチタイムオンステージ出演計画表		
時間：12:30～30分程度		
	出演月日	出演サークル
1	9/20(金)	高砂草笛愛好会
2	10/24(木)	高砂琴好会
3	11/13(水)	高謡会
4	11/26(火)	高砂オカリナクラブ

第42回作品発表会を開催
作品発表会 実行委員長
112期3組 笹尾 登
第42回作品発表会を8月1日(木)、2日(金)の両日彦三館において盛大に開催いたしました。初日の開会式では村山金沢市長、村田金沢市生涯学習課長、そして松本中央公民館長、田鶴彦三館館長をご来賓としてお迎えし、泉屋同窓会会長の開会の挨拶に続き村山市長の「祝辞を賜り、華々しく発表会の幕開けをする

市長を囲んで記念写真
今回の発表会では「個性は十人十色 作品も十人十色 いろんな見に来てね」をテーマに取り組み、昨年の記念大会と遜色のない350もの作品を展示することができました。いずれもプロ顔

作品展示の様子
また、交流プログラムでは骨粗鬆症財団による骨密度測定と、北陸大学三浦教授による健康相談件数は例年以上となり、共に満足されてお帰りになりました。

お茶席につきましても抹茶、煎茶席ともに多くの方にお出でいただき、各席ほぼ満席に近くとても好評でした。
熱中症警戒アラートが発令されている中での開催となりましたが、冷たい飲み物を用意し多くの方に飲んでいただいたことも幸いしたように思います。

市内3カ所で開催仲間のアート作品を鑑賞できます。			
サークル(9月分)	金沢医療センター	武蔵地下クロスピア	東横インホテル
手編みサークル	○		同窓会からの展示はありません。
ものづくり会	○		
寿雪書道会		○	
紙細工グループ		○	
マクラメサークル		○	

同窓会仲間のアート作品を見に行こう
発表会の開催に向け、各種会議や説明会を行い、会場設営から作品・会場の撤収まで五日間連続での対応となりました。運営委員長、多くの関係者に支えられ、発表会を無事に終了することができましたこと、厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

俳句始めませんか？

高砂石路句会 会長
112期3組 松田 寛(翠風)
この三、四年テレビ番組「プレバト」のお陰で俳句に関心を持つ方が増えていくように感じます。これは番組組の俳句の先生である夏井いつきさんの功績が大きいのと思います。視聴者に対して、解り易く俳句を添削してみせる、そして添削された俳句の内容が読者に理



月例句会の様子

解しやすく、感動を与える。自分もこんな風に俳句を作ってみたいと思われた方も多いのではないのでしょうか。ただ、大半の方は俳句はいろいろ決まりごとがあつて、自分で作るにはちよつと敷居が高いと思われるのではありませんか。俳句にはいくつか決まりごとがありますが、面倒くさい決まりごととは何でしょうか。大きく分けて三つあります。第一は五・七・五です。俳句は韻文ですので、日本語のリズムに則り、五音、七音、五音で読むことが基本です。第二は一句に一つだけ季語を使うことです。第三は切れです。一句に何か所、切れを作ることです。切れとは俳句の内容の意味上での屈折点を作るという事です。この切れは難しいので、俳句の経験を重ねながら学んでいけばよいでしょう。

私たち高砂石路句会は今在十二名、毎月第一水曜日の午後1時から月例句会を行っています。前月の句会で兼題として二つの季語が出され、その季語に対して二句づつ、各自四句提出し、合計四十八句に対して、各自自分の好きな句を選び、選評を行っています。自分の作った句が他の人にどのよう読まれるか、また他の人がどんな思いでその句を詠まれたのを知ることがとても楽しいです。講師は原篠義景さんで、適切なコメントをしてくださいます。やってみなければ楽しさはわかりません。初心者大歓迎です。いっしょに俳句を楽しみましょう！

「光る君へ」を訪ねて

生きがい会旅行部長
104期3組 館 洋一
生きがい会の春季研修旅行は、NHK大河ドラマ「光る君へ」の紫式部大河ドラマ館と黒壁スクエアと曳山博物館を巡る滋賀県の旅だった。

金沢市にバスの補助を受けるために4月上旬に生涯学習課へ申請書を提出した。行程には、紫式部大河ドラマ館見学→石山寺門前「洗心寮」(昼食)→曳山博物館見学→黒壁スクエア散策と記載した。

5月31日(金)、38名でバスは出発し、「光る君へ」びわ湖大津大河ドラマ館と恋するもののあわれ館を見学した。毎週見ている人も多く、衣装やシアターを見て感動しきり、藤原の姓ばかりで誰が誰やらこんがらがっていたが、登場人物の写真入りの大きな相関図を見て判り、今後のドラマの展開が楽しみだと言う人もいた。

昼食は石山寺門前の「洗心寮」で近江牛鍋御膳に天ぷら盛合をプラスして少々ゴージャスに味わい堪能した。

長浜市に戻り、曳山博物館を、長浜曳山祭りは小松市のお祭りのように曳山で子供歌舞伎や狂言を演ずるもので、それを映像で鑑賞、曳山の展示、舞台模型、修理ドックなどを見学した。博物館を出て三々五々、黒壁スクエアの商店街を散策、お土産を買ったり、中にはお花や玉ねぎなどの野菜を買う人もいた。

高砂フラダンススクラブへのお誘い

フラダンスサークル副会長
104期3組 高田 和美
フラダンスの魅力は、ゆったりとした優しいメロディに心が癒されます。私が入会したのがその思いからで



高砂一座に出演中の様子

俳句・短歌さんご句会

初秋の風に身を置く陶の椅子 八重子
つつがなく過ぎて安堵の厄日かな 明子
病得て足元日々の朝寒来 姿婦子
脳トレに秋の七草指折りて 紀子
街角に赤提灯や夜半の月 依子

石路句会

若き日のみんな笑顔や走馬灯 照子
うたかたの夢よみがえる走馬灯 眞素美
物言ひに親が口出す草相撲 ミイ
声援が悲鳴に変わり負け相撲 翠風
名古屋場所期待の星は先ず敗れ 吉隆

雪椿句会

紫陽花の雨に打たれて青深し 高三
父の背を流すがごとく墓洗ふ 房義
草花を真つ直ぐに来る夏の蝶 順治
河北潟のひまわり迷路子らの声 陽子
遠泳の父のはちまき俣びけり 静子

OB短歌会

紫陽花が木陰に青々群れていて大きく揺れつつかすかにゆれつつ 洋子
携帯の伝言メモを再生ししほしつつまれるあの母の声 重子
白い雲は変幻自在に青空の絵筆の主の姿は見え 國枝明美
用水を歩けば楽し夏の落ち葉素足にからまる水路をくだる 妙子
更々に違和感なし夏好きの嫁と春好きの吾との暮らし 千佳子

阿部豊寿(あべほうじゅ)先生の個展開幕

高砂寿雪書道会
108期1組 源田 孝子
7月26日(金)、北国新聞交流ホールでの阿部豊寿先生の初めての個展開幕式に高砂寿雪書道会の皆さんと共に参加させていただきました。村山金沢市長の祝辞から始まり、多数のご来賓や私たち書道会員が見守るなか、先生による開幕が宣せられました。

今回の展覧会は、経験したことのない恐怖を味わった、元日の能登半島地震から七か月を経た今、教え子津波で失った悲しみや一日も早い能登の復興と安寧を祈願して企画されたものとうかがいました。

先生がいままで全国各地で世界平和や災害からの復興を願って揮毫された大きなパネルの「揮」「興」「想」などが見る者を圧倒するようになられています。

男らしく、力強い字が大好きだという先生には珍しく優しさを感ぜられる作品もあり、あらためて書の奥深さを実感いたしました。

まだまだ緒に就いたばかりの能登半島の復興ですが、私たちもできる限りのお手伝いをさせていただきます。



個展での集合写真



集合写真

台風1号の影響なのか曇り時々小雨の空模様であったが、傘をさすほどでもなく、ほぼ予定通りに和気藹々と楽しく、無事で旅行を終えることができた。

昭和のヒットソングがみんなの心を掴み、みんなで熱唱が始まり、会場全体が熱気に包まれました

7月29日(月) 13時~15時に彦三館3F大研修室で「高砂かがやき懐メロクラブ」の第1回発表会が開催されました。冒頭に、泉屋和雄同窓会会長の挨拶に続き、彦三館館長田鶴直人様より祝辞を戴きました。

お揃いの法被を着た出演者が、誰もが聞いた曲を披露すると、ほとんどの観客がデイスプレイの歌詞を見て、大合唱が始まりました。

この懐メロパワーが、会場全体を元気にします。1曲終わると大きな拍手が起き、楽しい時間を過ごし、満足感がいつぱいになりました。

着物姿の女性司会者2人により交互に曲紹介が行われ、華やいだ雰囲気になりました。

曲の合間には、「民舞の高砂ひまわり会」と「高砂ハーモニカサークル」が友情出演し、カラオケとは違う雰囲気、観客を魅了しました。

正面右袖にはパーティーモールやポスター等で飾りつけされたホワイトボードが設置され、次回出演者が見えないように配慮されていました。音響設備やデイスプレイ歌詞や受付担当等の専任スタッフが配置され、観客を待たせないスムーズな運営がされていました。

この発表会の様子が新聞で紹介されました。司会を

担当した女性によると、クラブ発足1年を記念して企画し、約100名が来場し、会員40名がステージに立ち、自慢の歌声を披露しました。人生を明るく楽しく過ごすに欲しいと思い、さらに大きな声を出して歌う事はストレス解消になるため、今後は、年に1回開催するとの事です。



ディスプレイを見て熱唱中

フィナーレの様子